

秋田県職員互助会公益事業助成事業 助成実績一覧

年度	団体名	事業名	事業目的	事業概要	推薦課所
H25	特定非営利活動法人 秋田健康支援情報局	「99人の女子会」	女性の産業や地域活動への参画の拡大	活躍する女性をゲストに迎えトーク&セッションを開催する。午前・午後それぞれ100名が10名ずつの分科会形式で行う。	男女共同参画課
H25	特定非営利活動法人 長信田の森若者就労支援センター	社会不適應予防のためのソーシャルネットワークづくり	思春期・青年期における学校・社会不適應の予防	①職場の体験談等を題目とした講演会及び交流会を年4回実施 ②子育てに不安を抱える家族を対象とした交流会を年5回実施	県民生活課
(H25) H26	一般社団法人あきた宇宙コンソーシアム	日本の宇宙開発大集合！宇宙「ホンモノ」体験！	「ホンモノ」を実際に見る、聞く、触れることで、楽しみながら多くの若者に理工学の面白さを感じてもらい、同時にわくわくする気持ちを体験してもらう	ホンモノ展示(民間宇宙機、秋田県産観測ロケット実機等)、JAXA研究者によるホンモノ講演、ストローロケット教室などのものづくり教室等	学術振興課
H26	Team Show Me	ライブフェスティバル	県民の笑顔とにぎわいを創出し、県内文化の発見・発展・定着	秋田県内在住エンターテナー達によるライブフェスティバル	文化振興課
H24 H25 H26	ソウル便利用促進協議会	ソウル便利用促進助成事業	ソウル便の利用促進と路線の維持	秋田空港発着のソウル便を利用する県民に対し、その渡航費用を対象に一人当たり5,000円を助成する。	観光振興課
H26	特定非営利活動法人 冒険の鍵クーン	あきた野生生物ジュニアレンジャークマ調査班2014	「自然と人」のありようなど地域の伝統的なマタギ文化などを含めた多様な価値の獲得を目指す	①あきたの「くま」ぜんぶウッチング ②夜のクマなま体験！ ③クマのお食事クッキング ④クマの冬眠ウッチング	県民生活課
H26	特定非営利活動法人 秋田定住移住総合支援センター	AKITA婚ツアー2014	首都圏の助成と秋田の男性との婚姻率を上げて、秋田県への移住・定住者の増加を図り、出生率を向上させ、人口増加へつなげる	首都圏在住の助成が秋田県に行き、秋田県の男性と婚活を行う	地域活力創造課
H27	一般社団法人あきた宇宙コンソーシアム	「君もロケットア！モデルロケット工作・打ち上げ体験教室」	幅広い年齢層に対して楽しみながら理工学の面白さを体験し、科学技術リテラシーを高めてもらうこと	小学生低学年対象のロケット打ち上げ体験、小学高学年～高校生対象のロケット工作教室等、高校生以上対象のモデルロケット指導講師ライセンス講習会等	学術振興課
H28	八郎潟町地域振興協議会	「田んぼアート」で八郎潟町活性化事業	地域内交流人口の拡大と地域活性化	田んぼアートを活用したイベント開催	秋田地域振興局
H28	ALARE秋田支部	高校生×若手社会人 intergrowthプロジェクト	高校生が社会人と関わるきっかけをつくることで、人生を主体的に生きる人を増やす。	①高校での授業 ②社会人と高校生との座談会	雄勝地域振興局
H28	(社)秋田白神コミュニケーションセンター	白神の森で「健康寿命を延ばそう」ツアー	県民の健康寿命を延ばす。	県内各地の自然の中でのスローウオーキング	山本地域振興局
H29 R3	公益財団法人 秋田県国際交流協会	「やさしい日本語」で誰もが住みやすい地域作り～ダイバーシティ(多様性)の実現をめざして～ あきた多文化共生セミナー～みんなちがってみんないい～誰もが暮らしやすい地域を目指して	「やさしい日本語」講座を通して、外国人のみならず誰もがわかりやすいコミュニケーション方法を学び、多文化共生の推進を図る。 人口減少が進み地域活性化のために外国人の存在が重要になる中、県民や行政職員等に多文化共生社会について理解してもらい、国籍、文化、言語等の違いを認め、尊重し合うことにより自分の力を活かして活躍し、安心して暮らすことのできる地域づくりを目指す。	①講演会「ダイバーシティ(多様性)の実現をめざして」 ②「やさしい日本語」講座 ①異文化理解についてわかりやすく話ができる講師による講演会を開催 ②県内に居住する外国人と「やさしい日本語」で交流し、「やさしい日本語」を身に着ける機会とする。	国際課
H25 H27 H28 H29	特定非営利活動法人 トップスポーツコンソーシアム秋田	あきたこまちリレーマラソン	健康維持・促進、世代間交流への取組、ボランティアの拡充	複数人で42.195kmを走る「リレーマラソン」大会の開催	スポーツ振興課
H29	特定非営利活動法人 トップスポーツコンソーシアム秋田	「スポーツ」YUKIYOSE世界大会	ライフステージに応じたスポーツ活動の推進、スポーツを活用した地域の活性化	「雪よせ」に競技性を加えたスポーツイベントの実施	スポーツ振興課
H30	アキタエイジラボ	高齢社会における教育をデザインするワークショップ	「SDGs(持続可能な開発目標)及び「ESD(持続可能な開発のための教育)の周知・理解に努めるとともに、これからの社会の担い手となる若者の育成及び活躍の場の拡大を図る。	高齢社会に適応した地域づくりをテーマに、「SDGs(持続可能な開発目標)及び「ESD(持続可能な開発のための教育)について学び合うワークショップ及び勉強会の開催	移住・定住促進課
H28 H30 R1 R2 R3	ハタモク秋田実行委員会	こどものまち「しごとーいあきた」 ※R2は新型コロナウイルスの影響により中止	児童に対してキャリア教育を行うことで、将来的に地域に根ざした人材育成につなげる。	「こどものまち(児童の疑似職業体験イベント)」の開催	次世代・女性活躍支援課 地域づくり推進課
H30	仙北市移住者の会	移住者たちの定住力アップ活動事業	移住者の秋田への愛着心を育むとともに、地元住民から移住者への関心を高めることにより、定住力アップを図る。	地元夏野菜を使った料理教室、長芋収穫作業、特産物や観光地等を巡るツアー等のイベント開催	仙北地域振興局
R1	仙北市移住者の会	昔からある秋田郷土の知られざる魅力発信事業	移住者や移住希望者に秋田の魅力や地域独自の日常生活を知ってもらうための映像集や冊子を制作し、本県の魅力を発信するとともに、地域の受入体制・定着支援を図る。	移住者の視点から、秋田県内の伝統文化・祭り・郷土料理、地域の習慣・日常生活など秋田の魅力を紹介する動画と冊子の制作	仙北地域振興局
R1	発酵フードラボ	発酵フードラボプログラム	発酵食品を活用したメニュー開発を行いながら、発酵食文化を継承・発展させるとともに、観光資源としてPRする。	湯沢市等県南部ならではの食材や調理方法を取り入れたレシピを学んで食す料理プログラムの開催	雄勝地域振興局
R1 R2	キッズフェス実行委員会	CHERISHキッズフェス ※R2は新型コロナウイルスの影響により中止	親子の交流、情報交換の場となるイベントを開催することで、子育てを社会全体で支える機運を高める。	スポーツやものづくりなどの多彩な催しを親子で楽しむイベントを開催	次世代・女性活躍支援課

年度	団体名	事業名	事業目的	事業概要	推薦課所
R2	特定非営利活動法人 ゆめ希望	「親雪」による健康等の促進事業	健康寿命の促進、子育て世帯への支援、雪と親しむ機会の創出	○スキー用品等譲渡会の開催(2日間/1回) ○クロスカントリー体験、運動等の指導(冬季シーズン) ○クロスカントリースキー大会の開催(2回)	平鹿地域振興局
R2	秋田県地域おこし協力隊ネットワーク	地域おこし協力隊と地域の関係づくり事業	協力隊員と地域住民が互いに支え合う関係を構築するための知見を調査・研究し、とりまとめた情報を地域住民や隊員、自治体に広く情報発信することで関係者相互の理解を深め、よりよい関係性を築ききっかけとする。	○協力隊と地域が支え合う関係性を構築するための調査・研究 ○調査結果をまとめた冊子製作 1,000部 ○成果報告会の開催	移住・定住促進課
R3	佐藤勘六商店	サンゾー(3造(いちじく・地域・人))プロジェクト	いちじくの栽培管理の共同作業を通じ、若者の県内定着・回帰、移住の創出と、いちじくを中心とした地域づくりを担う人材の育成・発掘による地域の維持・活性化を目的とする。「観光以上就農未満」という新しい取組による、就農や定住の枠に止まらない新たな農業関係人口の創出を図る	①いちじくの栽培管理を気軽に関われる地域活動として県内外から参加者を募集し、交流人口を拡大する。 ②観光企画との違いを明確にするため、複数回の作業参加を条件とし、「一時的に必要な労働力として生産者から応援依頼できる仕組み」を確立する。 ③生産者と参加者が食事を共にしたり、にかほ市の名所案内をするなど、農業作業以外の交流活動も実施し、相互理解とコミュニケーションを促進する。	由利地域振興局
R3	湯沢雄勝観光シェアリングネットワーク	ゆざわ観光ガイド魅力アップ事業	観光ガイドの認知度向上と観光客の満足度を高めるとともに、インバウンド時代の多言語案内などのガイド力をブラッシュアップすることで、湯沢地域の魅力の発信や観光客の増進につなげる。	①湯沢地域の観光ガイドのモデルコースを巡るツアーをクイズなどの企画と連携し、観光ガイド付きのまち歩きの魅力を発信する。 ②外国人観光客への観光案内に興味がある方や、外国語でのコミュニケーション力を上げたい方を対象に開催し、湯沢の地域活性化を図る。	雄勝地域振興局
R4	次世代型健康経営推進ネットワークNEO	次世代型健康経営推進プロジェクト	・「次世代型健康経営」を推進するためのネットワークを構築し、様々な業種の人材を派遣することで秋田県民の健康寿命の延伸と企業における「自己実現可能な環境の整備」を図る。 ・「社会的にも良好な状態」であることを意味する「ウェルビーイング」を実現し、秋田県民が生きがいや豊かさを実感しながら暮らせる健康長寿社会を実現する。 ・元気に活躍できる職場環境を整えることで「優秀な人材の確保」「離職者の減少」「ワークライフバランスの充実」「女性が働きやすい職場環境の整備」「社員のモチベーションの向上」「定住の促進」などを実現する。	「職場の選択は生き方の選択！～ココロとカラダの健康習慣＋職場環境を整えて秋田で人生を楽しむ～」をテーマに同業種や異業種と連携した新しい形の「次世代型健康経営推進ネットワークNEO」を構築し、それぞれの企業等に合った健康経営プランの提案や様々な業種の専門家の講師派遣を実施する。	雄勝地域振興局
R4	特定非営利活動法人白瀬南極探検100周年記念会	白瀬南極探検110周年秋田南極サミット「南極へ行こう」	白瀬巒を隊長とする日本南極探検隊が南緯80度を超える快挙を成し遂げてから本年は110周年になるとともに、白瀬の南極探検が礎となった南極観測も60年が経過したこの時期に、南極観測事業に従事した関係者が一同に会し、白瀬のチャレンジ精神、南極のロマン、秋田スピリットを紹介し自信を持って目標(夢)へ向かって前進する縁にして秋田を元気にする一助とする。	①基調講演「南極観測60年の歩み」 ◆国立極地研究所所長 中村卓司(予定) ◆「白瀬中尉の夢に挑戦して」 冒険家 阿部雅龍(予定) ②シンポジウム「南極に行こう」 元南極観測隊員5名 ・コーディネーター 秋田魁新報社デジタル部長 安藤伸一(予定) ③展示会「南極自慢我が会社」東光鉄工株式会社(予定)株式会社三栄機械(予定) 東北ミサワホーム株式会社(予定)	由利地域振興局
R4	大仙民話の会	「地元の民話を語り継ぐ」	生活から密接に生まれ、長年にわたり脈々と語り継がれてきた独自文化である「地域の民話」を後世に継承し、この活動を全県に波及できるモデルケースを作ることが目的であり、これにより、語り部の高齢化やコロナ禍における活動停滞で危ぶまれている活動継続への気運向上とする。	①「地元の民話集」の制作 大仙市内を中心とした学校(小・中・高)、図書館、公共施設、観光拠点、県内民話活動団体関係者等への配布 ②「地元の民話継承」口演会の開催 ・民話や郷土芸能を聞いて触れられる口演会 ・民話継承活動功労者の表彰 ・講演「堀井徳五郎翁に惹かれて」 講師 来栖 史江 氏	仙北地域振興局
R4	一般社団法人 市民活動あきた	市民活動あきた「せんぼく ふるさと検定」	古くから仙北市を紡いできた自然環境、歴史や文化、またその遺産や諸行事、さらに産業の現状課題等に関する出題とし、それへの学びと解答を通して、地域社会の理解を深めるとともに、地域社会の継承や発展に向けた意欲をもつ人材を育てる一助とする。児童・生徒受検者には未来を担う人材としての意識醸成に、一般市民や県民の受検者には豊かな生活の向上意欲の醸成につながるものととらえている。	①ふるさと検定 配点は各部とも、事実の知識解答を80点、体験に基づく意見や考えを問う記述解答を20点、計100点とし、検定結果は合否判定によらず得点表示としそれを賞揚する。記述解答の元となる体験については、一般の部は市内散策と講話、児童・生徒部はお話を充てる。また、問題作成会による作問とし、作問根拠は仙北市及び観光協会ホームページ等で公表されている事項とする。 ②「検定報告集」発行 記述解答と体験活動の様子をまとめて県民に周知。HPでも発信。	仙北地域振興局
R5	男鹿雇用開発協会	令和5年度高校2年生対象「なまはげジョブFes'23」	男鹿地域における新規高卒求人は、R3.3卒103人、R4.3卒119人、R5.3卒138人となっているなど、新規高卒者に対する企業ニーズは年々高まっている。一方、求人に対する充足率はR3.3卒36.9%、R4.3卒29.4%、R5.3卒(12月末現在)16.6%と年々減少しており、地元事業所の事業継続のためにも高卒者の地元就職をこれまで以上に進めていく必要がある。 こうした状況の改善に向けて、生徒が地元企業の情報に触れる機会を提供し、地元企業を知ってもらうため、令和2年度より、ハローワーク男鹿、男鹿市と連携し、地元の高校2年生全生徒を対象とした貸切バスを借り上げての職場見学会を開催してきたが、2～3社のみしか見学できないことや事業所側で物理的に100名を超える生徒の受入が困難などの制約があったため、令和5年度以降は会場を借り上げ、生徒・事業所が一同に会する方式で実施することとした。 対象については、男鹿市内以外の高校生も対象とし、就職を契機とした男鹿市内への移住者増や地元事業所の人手不足解消、ひいては地域経済の活性化等につなげたい。	・事業所側より事業内容、求人条件、採用見込み、選考方法等の説明 ・事業所ブースを生徒が班ごとに訪問し、事業所側から説明を受ける。事業所側には、可能な限り職中の若手社員の参加を促し、同世代の先輩から会社の雰囲気や仕事内容などの説明をお願いする。 ・事業所は自社の説明だけでなく、業界の説明をすることとし、可能な限り実際の業務を体験できる設備を持ち込んでもらう。業務の都合上、持ち込みが難しい場合は事前に業務風景を360°カメラで撮影し、VRゴーグルを利用したバーチャル体験を行う。	秋田地域振興局
R5	NPO法人角館里山再生プロジェクト	小京都角館の「里山魅力発見フォトゲイニング」	角館武家屋敷周囲の里山老廃物を留めるため、里山を再生整備してきたが、より広く知ってもらうために、今回フォトゲイニングやフォトトレッキングで発信できる機会を創出するとともに、[国際教養大]、[大曲支援学校]や地域連携協定締結団体(仙北市・伊藤園・小倉通町内会)と「里山学習」を開催し、木の文化から環境への理解を深め、さらに、「里山学習」を都市と地域の活性交流活動に広げ、里山交流人口の拡大につなげる。	①③④角館武家屋敷を取り巻く里山(古城山～外ノ山及び七面山・大塚山・小倉山・太平山・大威徳山等)のフォトゲイニングやフォトトレッキング開催。相乗効果として互いが地域課題あぶり出し、継続して解決にも取り組む～三回開催予定(春・夏・秋・初冬) ②里山の生き物観察や、痕跡、植物の実り、生き物の集まる樹木植栽等の、「里山学習」で森林環境学習開催を通して子供たちの健全育成を図る。相乗効果として都市と地域の交流もはかり、互いが地域課題あぶり出し、継続して解決にも取り組む。 ⑤里山荒廃調査実施し、安全対策や危険箇所改善の整備実施	仙北地域振興局
R5	三種町のお産と子育てを守る会	100人のお産展in秋田	秋田県は人口の流出が続き全国でも少子高齢化が最も進行する地域といえる。政府も少子化対策に乗り出しているが、制度だけが先走り、実情が伴わない状態である。分娩できる病院は減り、選択肢のない中、全国で分岐が可能な病院の約8割の産科病棟が混合病棟化しているため、出産という女性にとってかけがえのない体験で十分なケアを受けることが困難になってきているほか、出産体験がトラウマになるような体験を語る女性も多い。出産体験がポジティブであればその後にも前向きになれるが、それが阻害されやすい社会状況があり、それが産後うつや虐待につながる。 この事業は出産が女性にとって素晴らしい、人生を支える体験であることを多くの人に伝え、秋田での産み育てを守る意義を広く伝える効果がある。出産を終えた人もこれからの人も参加できる形を目指し、女性にとって素晴らしい出産とは何か、今後の秋田でのお産に何を望むのか、住民全員でできることを考える機会とし、そのことによって女性が出産や育児に主体的になり、それを地域住民が支えるような活動につなげていく。	・100人のお産展:100人のお母さんの出産体験のパネル展を3日間行う。「100人のお産プロジェクト」の主催者である佐藤綾氏に講演と企画運営を依頼する。(佐藤氏の参加は2日間のみ) ・様々なお産について語り合うトークセッションの開催 ・助産師による参加型ワークショップの開催 ・手作りコーナー、ハンドメイド物販の実施 ・キッチンカーなどの飲食スペースなども実施し参加型の展覧会とする。 ・展覧会参加料は無料とする。 ・ワークショップや物販、キッチンカーなどは出展料を徴収する。	次世代・女性活躍支援課

年度	団体名	事業名	事業目的	事業概要	推薦課所
R5	NPO法人ここはぐ	すべての女性のための体操ヨガ会	・子どもがいるいないに関わらず、幅広い世代の女性たちが心身共にリフレッシュし交流できる場を作る。 ・子育て中の母親達や妊婦、地域の女性同士が共に身体を動かしながら、会場内で子ども達を見守り交流を図ることで孤独感・不安感の解消につなげるとともに、地域住民の繋がりができることで地域全体での子育てに関心を持ってもらう。 ・子どもがいなくても子育て世代と交流することにより、健康的で生き生きと過ごすことが可能になるとともに、女性たちが中心となり地域でお互いに見守り助け合うことで、秋田での妊娠出産子育てに希望が持てるようになり、地域の活性化に繋がる。	・女性講師によるヨガや体操を令和5年4月より毎月2回開催 ・身体を動かした後は参加者同士が自由に交流。	次世代・女性活躍支援課
R5	大館能代空港利用促進協議会	大館能代空港 開港25周年記念事業	大館能代空港は、昨年7月に、国の羽田発着枠政策コンテストを活用した東京便の増便(3往復)が実現し、企業誘致や観光誘客の促進など今後の圏域の活性化に向けて様々なメリットが期待できる。 コロナ禍の影響を受けつつも10月以降は利用者がコロナ禍前を上回っているが、搭乗率は40%台で推移し、増便に見合った利用状況には達していないため、3往復運航を定着に向けて、更なる利用促進が必要になっている。 そのため、同空港が今年で開港25周年を迎えることを踏まえ、それを記念した空港の利用拡大に向けた事業を実施し、3往復運航の定着等による空港の利便性向上を図る。	①大館能代空港発の25周年記念ツアーの実施 実施事業内容:今後の継続的な空港利用につながる特色を生かした独自の空港発ツアーを企画・催行する。 ※ツアー内容の詳細は関係機関と調整し決定 (想定事業)航空会社と連携した羽田空港や整備工場の視察ツアー、地元ゆかりの著名人訪問又は同乗ツアー など ②空港を活用した県民参加型イベントの開催 実施事業内容:大館能代空港への愛着と利用促進を高めるため、有識者を招いた住民向けセミナーの開催 ※詳細は関係機関と調整し決定 (想定事業)テーマ「地域を支える地方空港のカタチ」 2回 「ウェルビーイングセミナー」 1回 講師:南紀白浜エアポート(株) 代表取締役社長 岡田信一郎 氏 一般社団法人日本ウェルビーイング推進協議会 代表理事 島田由香 氏	交通政策課
R6	Web×IoTメーカーズチャレンジPLUS秋田運営委員会	2024年度Web×IoTメーカーズチャレンジPLUS in 秋田	あらゆる人やモノ、データがいつでもどこでも高速にネットにつながる世界へと社会は進化を続けており、IoTやAIをはじめとしたICT技術を活用した革新的でユニークなアプリ・サービス、それによる付加価値の創出は、今後ますます多岐にわたる分野へと広がることが予想される。こうした新たな時代の「ものづくり」の担い手として、アプリ開発などのソフトウェアの知識に加え、センサーやモーター制御をはじめとしたハードウェアの知識の双方を併せ持ったフルスタックなエンジニア人材があらゆる業界で求められている。 「Web×IoT メーカーズチャレンジPLUS in 秋田」は、Beyond 5G / Society5.0時代に必要とされるスキルを持つエンジニア人材を増やすための取り組み。WebおよびIoT等への興味関心を喚起し、秋田県におけるデジタル人材の発掘・育成を目的に開催する。	学生や初学者エンジニアを対象に、「Web標準技術を活用してIoT開発を実践的に学ぶ講習会」と「講習会で学んだ技術を活用して、実際にIoTシステムのプロトタイプ(試作の開発)を行うハッカソン」を行い、この2つのプロセスの参加体験を通して自発的かつ能動的にスキルアップができる機会を提供。	デジタルイノベーション戦略室
R6	北×国プロジェクト実行委員会	北×国プロジェクト サマーキャンプ・オータムキャンプ	秋田市との友好交流都市、東京都国立市と地域社会の連携を強化し、若者の交流を通して共に成長して行くこと目指します。特に若手起業家の交流を通して、新たな事業の創出や秋田の魅力を発信する機会を創出するとともに、秋田県の小中学生と国立市にある一橋大学の学生との教育交流を通して、郷土愛を育みつつ地域課題を解決する創造性のある人材を育成する。 2地域間連携によるイベントを開催することで秋田と東京の交流人口拡大につなげようとするもので、互助会員を含む、県内外の住民と首都圏在住秋田県民を対象とするイベントである。	・秋田市と国立市のコラボだからこそできるサマーキャンプを地域住民、小学生、若者団体が主体となって参加型で開催。会場内では音楽ブースやキッチンカーでの県内の食を楽しめる飲食ブース、東京の野菜や地元産の野菜を楽しめるマルシェ&BBQを提供する。また内陸線に乗って、森吉山へ行くなどの自然のアクティビティや大学生と小学生の学びの企画も実施。 ・国立市で開催するオータムキャンプでは、北秋田から若手起業家を東京に集め、各々の事業の紹介や、秋田県の観光や魅力を発信、マタギの文化について学ぶ場や、秋田の食を体験できるブースを設置して、東京在住の秋田県民や、首都圏在住の方に広く秋田の魅力を発信する。秋田の子どもたちの希望を募り、実際に国立市で大学生たちが運営するゲストハウスへの宿泊体験をし、国立市の小学生との交流もはかる。	北秋田地域振興局
R6	関係人口創出型インターンシッププログラム実行委員会	関係人口創出型インターンシッププログラム	就職・進学を機に若年者人口の流出が顕著な秋田県内において、若者の定着・帰郷そして日々の生活基盤を確立する就労の受け皿となる地元企業の持続的な発展は欠かせません。 そこで、中小零細企業が大半の県南地域において、5年後、10年後を見据えた社内変革として、自社の情報発信や人材確保・定着対策といった経営企画人材の獲得に悩む地元企業と、個人の成長、自己実現、社会貢献などの価値観に重きを置く現代の若者が働きたいと思える仕事・職場の創出に向けた社内改革や環境整備を目的とした長期実践型インターンシッププログラムを企画運営する。	地元企業の新展開創出機会をプログラム化し、将来の担い手や密接な関係人口となり得る大学生が参画する実践型インターンシップの設計とコーディネートを実施します。	雄勝地域振興局
R6	秋田スカイフェスタ実行委員会	熱気球による地域再発見事業	横手市の恒例行事である秋田スカイフェスタは、子供たちに夢を与え、熱気球という媒体を活用し、新しい地域づくりと青年活動の活性化を図る目的の一環として開催している。大会には全国各地から熱気球愛好者約200人が参加しており、交流人口の拡大にも寄与している。20機以上の熱気球が横手盆地の上空に浮かぶ様子は壮大で華麗であり、その風景を見るために多くの方が県内外から訪れており、秋田県の春の風物詩としての認知度が定着しつつある。 また、秋田スカイフェスタやあやめまつり(横手市の浅舞公園は「あやめ園」とも呼ばれる花菖蒲が咲き誇る公園として知られ、そこで行われるイベント)の期間中に熱気球係留体験を実施することは、地域や故郷の魅力の再発見につながる。 今後は、冬期間のフリーフライトを実施することで、県外の観光客やインバウンドの誘客を図り、地域の魅力を再発見発信していくことをねらいとする。	①秋田スカイフェスタ 早春の横手盆地を彩るカラフルな熱気球の空中散歩をご覧いただきながら、会場にお客様を対象とした熱気球係留体験搭乗を実施することで、上空から見る横手盆地のよさ(魅力)を再発見してもらう。 ②あやめまつりにおける熱気球係留体験 熱気球係留体験搭乗により浅舞公園に咲き誇る花菖蒲(あやめ)を上空からご覧いただき、故郷平鹿町の良さを体感してもらう。①、②ともに、熱気球係留体験搭乗の準備中に、ハンズフリー拡声器を使用しての熱気球の仕組みや、熱気球が浮かぶ原理を説明する時間を設ける。なお、熱気球は天候に左右される乗り物であり、実施予定時に雨天等により中止となる場合には、横手市内で行われる他のイベント協力や、実行委員会単独での実施を目指すこととする。 ③フリーフライト試行 R7年度からの実施を見据え、観光客が減少する冬期間に実施する。離陸場所の設定・時間帯・必要人員数・諸経費等の算出及び令和7年度からの本格実施に向けた模擬フライトとして実施する。秋田スカイフェスタ、あやめまつり、フリーフライトの広告宣伝用として、インバウンドを念頭にいた写真や動画の撮影も合わせて行う。	平鹿地域振興局
R6	NPO法人角館里山再生プロジェクト	小京都角館の「里山魅力発見フォトロゲイニング」	角館武家屋敷周囲の里山老廃化を留めるため、里山を再生整備してきたが、より広く知ってもらうために、昨年フォトロゲイニングやフォトトレッキングを開催し、広く周知できる第一歩を踏み出した。その参加者の顔ぶれを見ると、仙北市は元より県内(秋田市・大館市・横手市・大仙市)や県外(盛岡市・八戸市・仙台市)と広く集まり、皆より継続の支持を受けた。 さらに、県内各機関(秋田県仙北地域振興局)(あきた森づくり活動サポートセンター)仙北市(観光課・観光協会)(株)伊藤園(仙台支店)隣接市町村(大仙市)、農家民泊経営者、山岳経験者と準備段階から関わり、各機関との繋がりが深まり、次のプランに踏出す機会の創出となった。 また、秋田県立大、大曲支援学校せんぼく校、地域連携協定締結団体(仙北市・伊藤園)等と「里山学習」や「木匠塾」の開催により、木の文化や森林環境への理解を深め、さらに、都市と地域の活性交流活動に広げ、里山交流人口の拡大につなげたい。	①里山調査実施し、安全対策や危険箇所整備の整備実施 ②角館武家屋敷を取り巻く里山のフォトロゲイニングやフォトトレッキング開催(春・秋～初冬2回開催予定) ③フォトロゲイニング協会主催大研究会並びにフォトトレッキング講習参加 ④「里山学習」森林環境学習開催(春・秋2回開催予定)	仙北地域振興局
R6	能代商工会議所青年部	のしるおしごと体験～わくわくワーク～	能代山本地域の子供たちが、この事業を通して、地域の企業とふれあい、地域にある職業を覚えて、能代山本地域や秋田県内に残って頂くために開催します。 また、職業観に関して、子ども及びその保護者の生の感想(アンケート・インタビュー)を聞き、今後の企業の成長に繋げて、次世代である子どもたちが働きやすい企業を作るためのきっかけ作りになればと考えます。	能代山本地域を主とした県内企業により、職業体験ブースにおける職業体験の提供をして貰うことにより、次世代の子ども達と地域の企業をつなぎ、秋田県内に残るきっかけを作る。	山本地域振興局

年度	団体名	事業名	事業目的	事業概要	推薦課所
R6	秋田おやこ劇場MAMAMARCHE運営委員会	MAMAMARCHE × およこ祭り2024	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域の子育て世帯や地域住民に対して、有益な情報やサービスを提供すること。 2. 子育て世帯の負担軽減や交流促進を図ること。 3. 子どもたちの健全な成長と家庭の安定を支援すること。 4. 地域のママさん連や地元事業者の活動を支援し、地域経済の活性化に貢献すること。 5. 秋田のこどもたちに生の芸術体験の場を提供すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県内各地で活躍されているママさん連によるハンドメイドの出店 ・小さなお子さんから楽しめる飲食ブースやキッチンカーの出店 ・託児スタッフ完備のキッズスペース ・助産師による相談や行政による子育て相談等の受付ブース ・秋田おやこ劇場プロデューズによる、県外の人形劇団による生の人形劇の公演 ・こどもたちが主役のフリーマーケット ・移動図書館や絵本の交換会等読書を推進するイベントの開催 	次世代・女性活躍支援課
R6	三種町のお産と子育てを守る会	100人のお産展in秋田及び子育て支援講座	<p>分娩できる病院は減り、選択肢のない中、全国の分娩が可能な病院の約8割の産科病棟が混合病棟化していること等により、出産という女性にとってかけがえのない体験で十分なケアを受けることが困難になってきているほか、出産体験がトラウマになるような体験を語る女性も多い。出産体験がポジティブであればその後にくる育児にも前向きになれるが、それが阻害されやすい社会状況がある。それが産後うつや虐待につながるのである。</p> <p>昨年度は出産体験の尊さを伝え、産み育てについて地域住民の意識改革を図りたいと「100人のお産展in秋田」を開催した。200人以上が来場し、マスコミなどでも取り上げて戴くことができた。注目されたことにより三種町の企画政策課より「三種町町民祭」と同時開催してはどうかとの打診を頂いた。「三種町町民祭」は町内外から5000人が来場する大きなイベントであり、同時開催により多くの人の来場が見込まれる。小さな三種町という町が「お産」という女性の体験を町をあげて取り上げることが、地域の活性化に「女性」「出産」「子育て」といった他に類を見ないテーマで取り組むことをアピールできると考える。併せて、今回は病院や行政とは違った形での「出産教室」「育児教室」、また食育や性教育、親子体操などの楽しみながら学べる機会を設けたいと考えている。お産展をきっかけに学びたいというニーズが生じてくると考えられるため、それに応える企画を考えていきたい。また子育て支援講座は地域で活動する任意団体と協力し子ども食堂やリユースと同時開催したいと考えている。</p> <p>この二つの事業により人間教育の根幹を担う「産み育て」を秋田で支援する活動が促進される効果があると考えられる。</p>	<p>①100人のお産展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・100人のお産展:100人のお母さんの出産体験のパネル展を2日間行う。主催者である佐藤彩氏に講演と企画運営を依頼する。 ・様々なお産について語り合うトークセッション ・出産の古今東西に関する講演 ・助産師による相談コーナー ※三種町町民祭と同時開催 <p>②子育て支援講座:月1回程度/計11回(座談会含み3時間程度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出産・育児教室、女性のためのヨガ教室、親子性教育講座、食育講座・親子体操、女性の体づくり講座、祖父母講座の開催 ・託児も用意し、参加者が集中して講座を受けられる環境を提供する。 	次世代・女性活躍支援課

⑨次の3団体は、これまでに本事業による助成を3回以上にわたり受けているため、令和6年度の助成対象となりません。
 ①ソウル利用促進協議会 ②特定非営利活動法人 トップスポーツコンソーシアム秋田 ③ハタモク秋田実行委員会